Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.6
2017.3
仙台白百合女子大学後援会

Contents

2　学長挨拶
　　後援会会長挨拶
3　部会活動報告
4・5　事業活動報告・課外活動支援報告
6　2017(平成29)年度　行事予定
　　2016(平成28)年度　理事名簿 など
　　編集後記

学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長　**牛渡　淳**

後援会の皆様。お変わりございませんか。常日頃から、本学の活動に対しまして多大なご協力を頂きありがとうございます。

ご承知のように、2016年度は、本学の創立50周年を迎えた年でした。そこで、昨年、7月2日、創立50周年を祝い、本学講堂にて記念式典を開催いたしました。当日は、上智大学理事長の高祖敏明先生にご講演を頂き、カトリック大学としての今後のあり方を考える上で大変素晴らしいお話を伺うことができました。これからも、東北地方唯一のカトリック大学として、その特色と建学の理念を基礎として、わが国の将来を担う有為な人材を社会に送り出すべく、教職員一同力を合わせて日々努力を重ねる覚悟です。

さて、創立51年目となる2017年度の入学生から、新カリキュラムを実施することになっています。たとえば、グローバル化の時代に生きていく力を養うために、すべての学生の英語力の向上を目的に、共通科目の英語教育や全学科における専門英語の充実を図ります。また、キャリア教育をより一層充実させる予定です。また、学生の勉学意欲の向上と経済的支援を目的として、2017年度から、成績優秀な学生に対する報奨制度を実施します。さらに、休学する学生の経済的負担を減らすために、従来、休学期間中は授業料の半額を収めることになっていましたが、これを、半期3万円に減額することになりました。また、大学教育の核は、なんといっても毎日の授業です。授業の質を向上させるため、新年度も、シラバスや授業方法の改善、教員のFD（教員の職能開発）や授業評価制度の充実を図っていきたいと思います。

他方、2016年度、図書館に地域連携センターを設置しました。新年度には、このセンターを中心にして、地域連携をより一層強化していく予定です。その他、教学改革と地域連携の取り組みを強化したことにより、前年に引き続き、「私立大学等改革総合支援事業」による補助金を2件獲得することができました。これからも、様々な補助金の獲得に力を入れたいと考えています。

最後に、私は、この3月をもって、学長職は任期満了となります。この3年間、後援会の皆様には、様々な面でご協力いただきました。ありがとうございました。感謝申し上げます。今後とも、新学長の下、引き続き、本学の教育にご支援いただきますようお願い申し上げます。

後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長　**鈴木　俊一**

仙台白百合女子大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動へのご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

後援会の組織の紹介、主な活動についてご報告致します。

仙台白百合女子大学後援会は、在学生・保護者・大学教職員との連携を密に一致協力した活動を通じて、学生生活の向上、更には大学発展への寄与・会員相互親睦を図ることを目的として、2011年10月に設立しました。

その運営組織として、理事会は保護者と教職員理事で構成されます。2ヶ月に1回程度理事会が開催され、運営その他の必須事項を審議決定します。

事業運営におきましては、将来の日本社会、平和な世界の創造に貢献できる若者たちの育成を考え、円滑に対処するために3つの作業部会を組織しております。

①大学連携部会（部会長：後援会会長が兼任）
　大学の奨学金、キャリア支援、学生の課外活動の充実などを支援。

②事業部会（部会長：伊藤淳美副会長）
　保護者向け講演会を開催、卒業記念品の贈呈、『白百合祭』参加など後援会の独自事業を実施。

③広報部会（部会長：清水恵子副会長）
　広報誌発刊、ホームページ制作など。

今年度後援会の主な活動は、以下の通りです。

○2016年6月18日（土）に総会を開催、終了後に事業部会企画の講演会を実施しました。また講演会に参加された保護者の方々に学生食堂でのランチを体験していただきました。

○大学祭である『白百合祭』は10月22日（土）・23日（日）に開催され、後援会として模擬店に有志参加しました。事業部会以外の保護者の方々にもご協力いただき、昨年に引き続きチャーハンと初の試みとしてペットボトルのお茶を販売しました。

○本誌（会報）の掲載内容の企画構成や紙面の編集、原稿依頼を行いました。

○卒業記念品につきましては、『卒業した後でも長く使用でき、思い出に残る記念の品』という観点から理事全員で選定しました。

近年の日本は多様化した価値観が混在した社会とも言われますが、仙台白百合女子大学には学生達のパーソナリティを生かし個性を伸ばす学風があります。規模が大きな大学とは異なり、少人数のゼミ活動に於いては、ご指導をいただく先生方との距離が近く、学業面や就職面は勿論、日常生活のちょっとした悩みも自然に相談できる環境があります。

私自身は保護者として、小学校から高校までPTA等の経験はありませんでした。しかしながら、以前拝見した後援会の会報から、設立の趣旨を知りお手伝いを申し出ました。以来4年間、後援会の方々の活動に微力ながら協力させていただきました。会員の皆様には今後ともご理解とご支援のご協力とともに、積極的なご参画をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

部会活動報告

第6回後援会総会　報告

第6回後援会総会が2016年6月18日（土）に仙台白百合女子大学講堂において開催されました。当日は、約120名の会員の方々にご出席いただきました。

議事に先立ち牛渡学長と鈴木後援会長の挨拶がありました。その後白川教授が議長となり、議案の審議が行われました。議案の2015年度事業報告、収支報告、監査報告、2016年度事業計画、収支予算、理事の選出については、全て原案どおり承認されました。

ご出席いただきました会員の皆様、理事の皆様に心より御礼申し上げます。後援会の皆様におかれましては、今後とも本学の教育活動にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

（大学連携部会　高橋　千恵子）

事業部会活動報告

講演会を開催いたしました。

開催日：2016年6月18日　（土）
時　間：第6回後援会総会終了後11：30～12：30
場　所：仙台白百合女子大学　講堂
講　師：仙台白百合女子大学 学長　牛渡　淳 氏
演　題：「教養とは何か」

一昨年より引き続き、後援会総会にご出席の保護者の皆様には、講演会終了後に学生食堂（ステラマリス）においてランチを体験していただきました。

日ごろ学生に大好評のランチメニューの中から、今回は「グリルチキンおろしソースセット」を無料で提供し、野菜も付き栄養バランスが良いというお声をいただきました。

また健康栄養学科の学生さんたちが、戸惑う保護者の方々を誘導し笑顔でメニューの説明やサービスをしてくれ、その手際の良さと明るい雰囲気は保護者の皆様にとても好評でした。

（事業部会　伊藤　淳美）

大学連携部会活動報告

大学連携部会では、学生への支援の一環として「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」を行っています。

奨学支援では、後援会から300万円を支出し、これを大学奨学金と一体運用して、経済的困難学生支援として対象者10名に200万円を支援し、残りの100万円についても経済的困難学生に対し、各学科1名に支援、また東日本大震災授業料減免に支援しました。

勉学奨励については、人間発達学科の学生に対しては、幼保学生のためのワークショップ等のプログラムに対して支援補助しています。心理福祉学科の学生に対しては、教育の質向上のための学生活動に参加するため山形大学への課外研修に支援補助をしました。また社会福祉士及び精神保健福祉士の資格取得を目指す学生への支援補助をしました。健康栄養学科の学生に対しては、管理栄養士国家試験対策講座にかかる費用への支援補助をしました。グローバル・スタディーズ学科の学生に対しても各種資格試験検定の団体及び個人の受験料を支援補助をしました。

課外活動支援では、白百合祭で使用するトランシーバー及び宣伝費用に支援補助をしました。

キャリア支援においては、3年生の保護者懇談会、学内写真撮影会、カウントダウンセミナー、SPI講座に支援補助をしました。

後援会といたしましては、学生が有意義で充実した学生生活を送ることが出来るように大学側と一緒に連携をとりながら活動を続けて参りたいと思います。

（大学連携部会　佐藤　牧子）

広報部会活動報告

広報部会は、今年度も後援会会報「Shirayuri」の発刊、ホームページの更新を中心に取り組んできました。また、会報を保護者の皆様にお届けする業務を担っています。

この会報は1年に1回の発刊のため、広報部会としての実質的な活動は11月から3月までとなっています。それ以外の期間は、後援会の理事として理事会、後援会総会、白百合祭などで活動しています。

主たる活動の会報「Shirayuri」は、年度初めの企画会議で内容を決定します。そして年間を通して、大学の行事や後援会における学生の皆さんの活動を支援する事業の際に、写真での記録や学生の皆さんからの声を集めています。また理事の皆様からもそれぞれの担当ごとに寄稿していただいています。このような生の声を会報に掲載することで、会員の皆様に、より後援会をご理解いただけると思っています。最終工程である「表紙」を飾るステントグラスの写真選びは、大学構内の美しいステントグラスを見ながらの作業で、カトリックの教えに基づく教育の素晴らしさを感じる時間だと思っています。

これらの全ての工程は、大学側の大きなバックアップのもとに成り立っています。そのおかげで、今年度もスムーズに作成、発刊を行うことができました。ご協力に感謝いたします。

最後になりますが、ホームページも随時更新しています。ぜひご覧いただければ幸いです。

（広報部会　清水　恵子）

事業活動報告・課外活動支援報告

白百合祭に参加して

2016年10月22日（土）・23日（日）の二日間にわたって開催された白百合祭に後援会の一員としてチャーハン販売の模擬店に参加させていただきました。

私自身は後援会行事への参加はもちろんのこと、学校行事への参加も初めての経験でしたが、後援会の皆さんから温かく受け入れていただき、不安を抱えることなく共同作業に取り組むことができました。周囲には学生たちのバラエティ豊かな模擬店が並び、はじめはその若いエネルギーに圧倒されながらの取り組みでしたが、チャーハンの売れゆきは好評で連日の完売を果たすことができました。

チャーハン作りの合間には先生・職員の皆さんと会話を交わすことで、学生に対して普段から親しみを持って接していただいていることを肌で感じることができました。また餅まきへの参加や模擬店での買い物を楽しみ、かつての日々を思い起こすような楽しいひと時を過ごしました。

そして何よりも学生の皆さんの普段の表情を見ることができ、協働して自分たちの白百合祭を創り上げて行こうとするエネルギーを感じました。このような活動で培われる積極性は、日頃の勉学や学生活動に対する向上心に繋がっていると思いました。

あっという間の二日間でしたが、天候は荒れることなく、屋外での模擬店運営を続けることができました。時折空気を肌寒く感じる時間もありましたが、温かいチャーハンへの列が絶えず、作り手と売り手が協働し日常生活では味わうことのない経験を大いに楽しむことができました。

後援会の白百合祭参加は今回で四回目となり、皆さまからのご協力をいただき成功のうちに終えることができました。

また模擬店売上にご協力をいただいた先生をはじめとする大学関係者の皆さまと学生・地域の皆さまに深く感謝を申し上げます。

（事業部会　佐藤　幸一）

卒業記念品について

後援会では毎年、卒業生の皆様にお祝いの品をプレゼントいたしております。昨年度までは実印の入る「印鑑ケース」を贈っていました。今年度卒業生に記念品を送るにあたり後援会理事会で品物について検討しました。その結果、昨年までの「印鑑ケース」は実印を作るときにケースも一緒についてくるため、実際にはあまり利用されていないのではないかとの意見があり、記念品を見直すことにしました。

議論を重ねた末に、あると便利だが意外と持っていない、自分ではあまり買わない、社会に出るにあたり持っていたほうが良いという観点から、「ふくさ」が良いということになり、今年度は卒業記念品として「ふくさ」を贈ることにしました。

4月から社会で活躍するにあたり直面する機会が増える慶弔の場面で活用していただければ幸いです。

（事業部会　佐藤　啓朗）

創立50周年記念 河北新報「教育最前線」掲載

2016年7月1日の河北新報に創立50周年を記念した広告を、大学・同窓会・後援会の合同で掲載しました。掲載した河北新報トップインタビュー「教育最前線」は牛渡学長のインタビュー記事で、東北唯一のカトリック系4年制大学として、人間をかけがえのない存在として愛するキリスト教の教えに基づき、時代のニーズに対応した教育活動を実践している事や、福祉や保育、教育、健康と食など多様な分野に人材を輩出してきた仙台白百合女子大学50年の歩みと、今後の展望が紹介されました。

（事業部会　佐藤　文彦）

東北で唯一のカトリック系４年制大学
地域社会で活躍する女性を輩出し50年

教育最前線

仙台白百合女子大学

牛渡　淳 学長

2016 OPEN CAMPUS
7/23(土)・24(日)
10:00～14:00

祝 創立50周年

白百合祭御礼

第51回白百合祭に対し、仙台白百合女子大学後援会様から多大なるご支援をいただきました。まずは後援会の皆さまに心から感謝申し上げます。

今回の大学祭は、創立50周年の仙台白百合女子大学がより一層発展し輝くよう願いを込め『輝け～白百合の学生（ほし）☆～』をテーマに開催しました。今年は広報活動に一層力を入れることを目標としていたため、ご支援いただいた援助金は、ポスター・パンフレット等作成費の一部、河北ウィークリーの掲載料など広報活動に使わせていただきました。

広報活動の中心となったポスター・パンフレットの絵は、テーマをもとに学内で募集し、多くの応募の中から決定しました。その後、担当の学生が中心となり構成などを決定し、最終的に今回の大学祭を象徴するような素晴らしいポスター・パンフレットが完成しました。今年の宣伝用チラシは昨年度より印刷部数を増やし、周辺の幼稚園、小学校、中学校、大学に配付しました。配付には先生方のお力添えもいただきましたが、できる限り直接実行委員が手渡しすることを心がけました。そうすることによって仙台白百合女子大学の良さ、大学祭を通した学生の活躍を深く知っていただけたと思います。また、私たちにとってもこの活動が仙台白百合女子大学の学生としての自覚と誇りを再確認するきっかけとなりました。

当日は、ポスター・パンフレットを見て来場してくださった方を始め1000名以上の来場者がありました。幅広い世代のお客様が、新企画のロッククライミング体験やスタンプラリー、学科企画や実行委員会企画に興味を持って参加されていました。このように仙台白百合女子大学創立50周年という節目の年に相応しい「白百合祭」を作り上げることができましたのも、ご協力いただいた教職員の皆様、ご支援いただいた後援会の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。

（第51回白百合祭実行委員長　髙久　和美）

保育セミナーでの学び

2017年1月7日(土)人間発達学科の2～4年生を対象に行われた「特別講座　あきらちゃん＆コロッケくん保育セミナーあそびうたワークショップ」に参加しました。

私は今年で2回目の参加となり、昨年1回目は楽しみながら学ぶことができたという記憶が残っていますが、今回は保育園実習、幼稚園教育実習を経験した後だったため、保育者の立場で考えさせられる場面が多くありました。

実習前は、人前で表現する時に恥ずかしいという気持ちが先にたち上手に表現できませんでした。しかし実習を経験し保育者自身が楽しもうとする気持ちがないと、子どもたちにも伝わらないため、子どもの目線に立って行動することが大切だということを学びました。講師のあきらさんも「表現の大切さ」について話され非常に共感しました。また実習の中で、絵本や手遊び、手袋シアターを繰り返し行うことで、子どもたちが段々と真似をするようになりました。繰り返しは、子どもたちの興味を引きつける上で欠かすことのできないものだと経験しました。今回のセミナーで「子どもは、繰り返しが大好きで、徐々に興味をもっていくが、大人は1番最初のリアクションが大きく、繰り返すことで反応も薄くなっていく」というお話で再確認することができました。

今回参加した保育セミナーでは、改めて自分の保育観を見つめなおすきっかけになりました。あきらさんやコロッケさんから学んだことを忘れずに、保育者になった際には活かしていけるよう努力していきたいです。

このような保育セミナーを企画してくださった先生方、ご支援くださった後援会の皆様に深く御礼申し上げます。これからも保育者を目指す学生にご支援の程よろしくお願い致します。

（人間発達学科 菅原　綾夏）

国家試験対策講座を受講して

私は、後援会より支援をしていただいている「国家試験対策講座」を受講しています。講師の先生を二名お招きして開催されており、スライドとプリントを使用したわかりやすい説明と身近なクエスチョンバンクを使用した細かな解説で講義をしてくださいます。一人目の講師である安部隆雄先生は広島県から来てくださっている方で、分野ごとのスライドと様々なイラスト、理解しがたい複雑な部分はパワーポイントを使用し、私たちが理解しやすいように資料や参考書と共に講義してくださいます。安部先生が執筆されている参考書には語呂合わせが多数掲載されており、重要個所やポイントが図や表に端的にまとめられているため、講義の際にはもちろん、模試の直前確認やわからない点を調べる際にも活用しています。二人目の講師である佐々木剛先生は、学生が皆持っている一番身近な教材のクエスチョンバンクを使用しながら、基礎となる分野から細かく指導してくださいます。大学の授業とはまた違う視点での講義をしてくださるため、新しい知識を吸収できるだけでなく、今まで得てきた個々の知識の横つながりを理解することができます。また、講義に出席できなかった学生のために講義内容を録画してくださっているため、欠席した学生だけでなく誰でも講義後の確認や復習に活用しています。

授業以外の空いている時間の勉強の際にも講座で頂いた資料を参考に復習・見直しをしています。少ない時間でも有効に使うことができ意義のある自主勉強をすることができます。

最後になりますが、丁寧に細かくご指導くださる講師の先生方とこのような貴重な機会を支援してくださった後援会の皆さまには心より感謝しております。国家試験までの残り少ない時間を有意義に活用できるよう、対策講座で得た知識と対策講座に参加することによって整うモチベーションを糧に、勉学に励んでいきたいと思います。

（健康栄養学科 阿部　麻彬）

補助事業の感想・御礼

今年度、仙台白百合女子大学後援会より国家試験関連の補助、学生FD活動費の助成に対しご支援を頂きました。後援会の皆様には心より感謝しております。

国家試験関連については、模擬試験や対策講座、web講座のテキスト代の一部補助をして頂きました。そのおかげで経済的負担も大きく減り、7月から12月にかけて行われた5つの模擬試験をすべて受験することが叶いました。模擬試験は、自身の実力を知るだけではなく、結果の自己分析を行うことによって国家試験までの効率的な勉強スケジュールを立てることに役立ちました。また、web講座や中央法規主催の対策講座を受講することを通して、ポイントを押さえた学習ができるようになり苦手科目を少しずつ克服していけたように思います。尚、対策講座では、社会福祉士を目指す多くの方々が集う刺激的な環境で勉強することができ国家試験に向けてより一層意識が高まりました。

学生FDは、学生の声を反映させ、より良い授業づくりを目指して活動する団体です。発足初年度ということもあり試行錯誤の1年ではありましたが、8月に山形大学にて開催された「学生FD会議」への参加を通して多くの発見や学びを得ました。それらの経験を活かして11月には「より良い授業をつくるために～学生と教員に期待すること～」をテーマに「しゃべり場」を開催しました。この活動に関し、後援会より助成金を頂きました。学生・教員双方が感じている現状や要望を“生の声”で討論することは、異なる視点からの意見を知る良い機会になったかと思います。

最後になりますが、心理福祉学科の発展さらには、社会に貢献できる福祉専門職育成のために今後ともご支援の程よろしくお願い致します。

（心理福祉学科　及川　瑞貴）

ANAエアラインスクール学内講座を受講して

私は父の仕事の都合でマレーシアのクアラルンプールで生まれ、3歳まで過ごしました。そのため、飛行機を利用する機会が多く、小さい頃から空港が大好きでした。その頃から空港で活躍できる仕事をしたいと思っていました。

そのような中、ANAビジネスソリューション（株）と仙台白百合女子大学が教育連携協定を結ぶことで、ANAエアラインスクールの講座を本学で受講できるようになりました。しかし講座の日程が都合に合わず受講できずにいましたが、今回やっと受講できると知った時は、心から喜びを感じました。

この講座は客室乗務員やグランドスタッフを目指している人に限らず、就職活動を控えている学生には、とても価値のある講座です。挨拶やお辞儀の仕方といった基本的なビジネスマナーはもちろん、グループディスカッションの対策やグループ面接の対策なども、サポートしてくれます。そして講座の集大成として、福島空港での実務体験をさせていただきました。このような有意義で貴重な経験は、普段の学生生活では絶対に体験することはできません。私は講座を通して、一緒に受講している仲間との「結束力」、お客様を第一に考える「接遇力」、そして何よりも今後の人生において必要な「社会人基礎力」を学ぶことができました。今回の全ての経験は私にとって一生の財産です。

このような貴重な経験ができる機会を与えてくださったANAビジネスソリューション（株）、大学の先生や職員の皆様、そして講座のために補助をしてくださった後援会の皆様にもとても感謝しています。この場をお借りして御礼申し上げます。今後とも学生の夢が広がり、学びに繋がるようなご支援をよろしくお願い致します。

（グローバル・スタディーズ学科　半澤　優衣）

2017(平成29)年度　行事予定

前　期	
4月　3日（月）	入学式（本学講堂） 後援会入会式・保護者説明会
4月　6日（木）	白百合ウェルカムフェスティバル
4月 10日（月）	前期授業開始日
6月 17日（土）	後援会総会 1・2年生保護者会
6月 20日（火）	修養会
7月 28日（金）	前期授業最終日

後　期	
9月 25日（月）	後期授業開始日
10月 27日（金）	白百合祭準備（休講）
10月 28日（土） 29日（日）	白百合祭
10月 30日（月）	白百合祭代休
11月 18日（土）	就職に関する保護者懇談会（3年生保護者）
12月 20日（水）	クリスマスミサ・コンサート
12月 22日（金）	年内授業最終日
1月　9日（火）	授業再開
1月 26日（金）	後期授業最終日
2月 22日（木）	卒業判定結果掲示
3月 15日（木）	卒業感謝ミサ・同窓会入会式
3月 16日（金）	学位記授与式

仙台白百合女子大学後援会 2016(平成28)年度　理事名簿

	氏　名	担当部会
会　長	鈴　木　俊　一	大学連携部会長
副会長	清　水　恵　子	広報部会長
副会長	伊　藤　淳　美	事業部会長
監　事	庄　子　裕　子	大学連携部会
監　事	門　間　由　美	広報部会
理　事	伊　藤　啓　子	大学連携部会副部会長
理　事	遠　藤　要　子	大学連携部会
理　事	佐　藤　牧　子	大学連携部会
理　事	佐　藤　英　子	事業部会副部会長
理　事	佐　藤　幸　一	事業部会
理　事	佐　藤　文　彦	事業部会
理　事	杉　本　美　樹	事業部会
理　事	高　橋　英　恵	事業部会
理　事	早　坂　牧　子	事業部会
理　事	後　藤　浩　幸	広報部会副部会長
理　事	大　友　由　美	広報部会
理　事	林　崎　扶美子	広報部会
理　事	渡　邉　博　子	同窓会長
顧　問	牛　渡　　淳	学長
理　事	槇　石　多希子	大学連携部会/学部長
副会長	矢　口　洋　生	事業部会/グローバル･スタディーズ学科長
理　事	大　本　　泉	事業部会/学生部長
理　事	浅　野　浩　子	広報部会/事務局長
理　事	石　岡　宏　美	大学連携部会/事務局次長兼キャリア支援課長
理　事	髙　橋　　豊	大学連携部会/事務局次長兼会計課長
理　事	泉　田　礼　子	広報部会/学生課長
理　事	佐　藤　啓　朗	事業部会/管理課長
理　事	髙　橋　千恵子	大学連携部会/庶務課長

編集後記

見慣れた風景と風の匂いが変わりました。大学に隣接していた病院が昨年秋、泉中央駅近くに移転し、前の急坂をアクセルいっぱい踏み込むような力強さで登っていた宮交バスが路線変更で通らなくなりました。行き交う車輛がほとんどなく、音として聞こえてくるのは学生たちの楽しそうな会話と鳥のさえずり。学ぶのにはもってこいの学舎一帯。学生の皆さんがうらやましくも誇らしくも感じます。後援会報は第6号になり、この製作・発行に携われたことに感謝します。

（広報部会　林崎　扶美子）

仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局（庶務課）までご連絡願います。

検索　仙台白百合女子大学　後援会

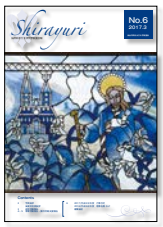
仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

【目　　的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境の整備充実のため

【使　　途】 ① 教育・研究環境の整備
② 奨学資金の充実
経済的理由のため学業継続が困難である優秀な学生への支援
東日本大震災における被災学生の授業料減免支援
留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

検索　仙台白百合女子大学寄付金の募集



制 作 者：榎戸悦
（仙台白百合学園卒業生）
設置場所：記念館
メディテーションルーム

キャンパス整備の一環として改装された記念館のメディテーションルーム北側に2007年6月に左右一対に設置されました。

今回表紙を飾ったステンドグラスは、小羊を抱く牧者イエスキリストとシャルトル大聖堂が描かれています。また同時に制作された対の一方は、本学の設立母体のシャルトル聖パウロ修道女会の紋章が中心に配置されています。いつか皆様に紹介できたら幸いです。

仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107　仙台市泉区本田町6番1号
TEL：022-372-3254
FAX：022-375-4343
E-mail：kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp

この印刷物は、地産地消・輸送マイレージに配慮したライスインキを使用して印刷しています。